

農業をこよなく愛し、農村の暮らしを楽しむ (農事組合法人 上小田代)

＜法人の概要＞

所在地：岩手県奥州市

設 立：平成22年3月

資本金：50万円 売上高：160万円（平成23年）

構成員（議決権）：農業従事者3名（100%）

役 員：3名（うち農作業従事3名）

従業員数：常時雇用者0名、臨時雇用者6名

経営面積：3ha（うち所有0ha、借入3ha） 基幹農作業受託面積：15ha

作付作物：水稻10ha、大豆5.5ha、野菜（夏秋きゅうり・ハウスピーマン・加工とまと等）



モチヒエの圃場



トマトプリン

＜営農を開始するまでの状況＞

- ・平成16年2月に特定農業団体を設立、6年後の平成22年3月に法人化し、「愛しの蒲道沢・こざっぱり大地」をキャッチフレーズに、地域住民と共に夢を描きながら、子や孫に引き継ぐ集落を作るための土台作りであることをビジョンに掲げてきた。
- ・耕作地は中山間地に位置し、条件的には不利な地域ではあるが、農用地の有効活用及び農地の保全の観点から、地域内の利用権設定を広げる予定。また、作業効率の向上等を図るため圃場整備を進めていきたいと考えている。
- ・転作田に大豆、加工とまと等を作付し、地区内においてパート雇用の拡大も図っている。
- ・生産作物について、そのほとんどをJAを通じて販売している一方、加工品（とまとプリン等）については、独自の販路開拓を進めている。

<特徴的な取組>

- ・ 出資等は受けていないものの、企業に委託しての加工食品の製作に取り組み、とまとプリン・やまぶどうプリン・米粉プリン等を販売。
- ・ 現在「とまとラーメン」開発中、プリン等と併せて、関東地区に向けた販売促進を展開中。
- ・ 平成22年からプリンの生産販売を開始。初年度8千個、2年目1万2千個程度、3年目である今年は1万8千個を見込んでいる。
- ・ 集落営農組織の情報交換を契機に軽トラ屋台製作に取り組み、各種イベントで活用中。加工とまとを利用したとまとスープを考案し、販売。

<今後の農業経営の展開方向>

当法人の目的である、子や孫に引き継ぐ集落を作るための土台作りであるという部分は変わらずに続けていくものの、近年の動向から、小規模法人が生き残るためには、高収益野菜の導入及び6次産業化を進めることが必要不可欠と考えている。

このことから、更に6次産業化に力を入れ、加工とまとを活用した「とまとラーメン」の開発等、さまざまな可能性を模索していく。

<今後法人化を進めようとしている方へのアドバイス>

法人化の進め方として、いわゆる「2階建て方式（集落全体を包括する任意組織とオペレーターを中心とした法人）」が、最善の仕組みを作り出せる早道ではないかと考えている。



イベントには軽トラを改造した屋台で出動！